

2009年3月期 決算説明会

質疑応答要旨

Q. 今期のソフトウェア開発の大型案件について教えてほしい。

A. ソフトウェア開発の案件は、受注残高に加え内示案件が昨年度と同程度あり、比較的堅調である。

内示案件の一つとして、グループ企業向けの案件があり、第2四半期以降の業績にプラスに寄与すると考えている。

また、ProActiveについても比較的堅調に推移し、基幹系システムの構築案件で足の長い案件を確保している。

Q. ERPの売上高を教えてほしい。

A. 07年度 : SAP 88億円、Oracle 19億円、ProActive 41億円※
(※08年度ベースで45億円)

08年度 : SAP 85億円、Oracle 24億円、ProActive 57億円

09年度(予想) : SAP 80億円、Oracle 24億円、ProActive 63億円

Q. ProActiveの利益について教えてほしい。

A. 08年度は、販売管理その他の基幹モジュールの開発を行なった事に加え、パートナー戦略の推進や営業戦略の各種施策の実施、マーケティング戦略の強化を行ったため、利益の改善は大きくはなかった。

09年度についても、この様な経済環境下ではあるが、モジュールの機能増強は行なっていきたいと考えている。

一方、売上で約6億円の増加を見込んでいるため、総利益ベースでは約4億円の改善を期待できると考えている。

Q. セットトップボックスやYAMAHAルータの今期の見通しを教えてほしい。

A. 現在の経済環境下では非常に判断しにくいところはあるが、セットトップボックス、YAMAHAのルータともに、ほぼ横ばいの傾向を想定している。

以上